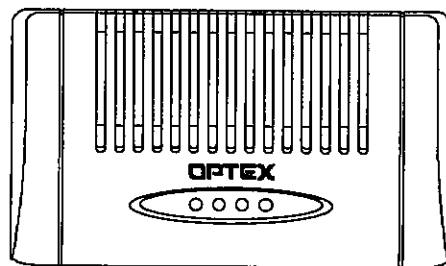


ワンダーセーフ
WonderSafe
 衝撃音波発生装置

GS-04

GS-02

施工説明書



このたびはGSシリーズをお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 安全に正しくお使いいただくため、お使いになる前に本施工説明書を必ずお読み
 ください。

お読みになった後は、保守・管理される方がいつでも見ることが出来る場所に大
 切に保管してください。

目 次

1.	安全上のご注意	2
2.	本機器の概要と特徴	3
3.	システムの構成	3
4.	各部の名称と働き	4
5.	設置の方法	5
6.	GS-04の施工手順と操作の仕方	7
7.	GS-02の施工手順と操作の仕方	22
8.	仕様	28

1. 安全上のご注意

- ・ご使用になる前に本施工説明書をよく読み、正しくお使いください。
- ・この施工説明書をお読みになった後は、いつでも見ることができる場所に大切に保管してください。
- ・この施工説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために以下の表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。


 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷する可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
--	--



 この表示は禁止を表しています。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



 この記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。


警告

- 分解や修理は絶対に行なわないでください。
火災や機器破損の原因となります。


- 端子部に定格以上の電圧や電流の機器を接続しないでください。
火災や機器破損の原因となります。



- 非常に大きな音を発します。子供、老人、病弱者など身体の弱い方のいらっしゃる場所では使用しないでください。



- 本機器は夜間や休日など無人となった事務所や重要物保管場所の防犯を主目的としております。人が居るときは警戒状態にしないでください。





注意


- 濡れた手で本体にふれないでください。
感電、機器破損の原因となります。


- 本体カバーをはずして制御基板周辺に手を触れないでください。
感電、やけどの原因となります。


- 安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。不具合がありましたらそのまま使用しないで販売店または施工店に修理を依頼してください。


- 本機器を風呂場など水のかかる場所、湿気の多いところでは使用しないでください。
感電、故障の原因になります。(GS-04)


- 非常に大きな音を発します。ペットのいる近くでは使用しないでください。



使用済みバッテリーの返却の方法について (GS-04 のみ)

- ・使用済みバッテリーは購入いただいたときの梱包箱に入れて購入先に返却してください。
- ・使用済みバッテリーを火の中に捨てたり、充電したりしないでください。
- ・使用済みバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。
- ・機器廃棄時はバッテリーとともに返却してください。

<お断り> この製品は盗難防止器ではありません。万一発生した盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

2. 本機器の概要と特長

■ 本機器の概要

本機器は、制御盤および検知器に接続することにより、警戒状態のときに検知器が外部からの侵入者を検知するとその信号を受け、大音量の不快音を発生する衝撃音波発生装置です。

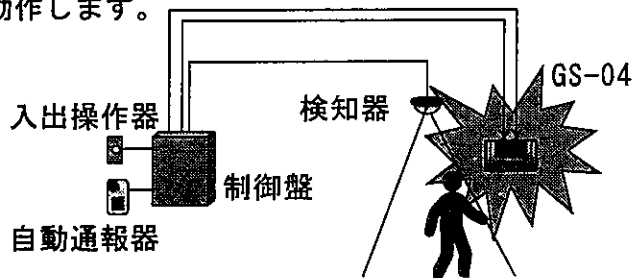
■ 本商品の特長

1. 大音量の不快音により侵入者を撃退。
複数のサイレンから発生する高周波、重共鳴、大音量の衝撃音波により犯行を妨害します。
2. 設置現場の制約が少ない。
現場内の物品に対する影響がないため設置場所の条件に左右されません。
また、検知用センサは設置場所に応じて任意に選択できます。
3. 撃退効果に即効性がある。
音波を利用しているため撃退効果に即効性があります。
4. 故意の破壊工作にも対応。
非常用バッテリーを内蔵しているため（GS-04のみ）侵入者が故意に配線を切断しても衝撃音波を発生します。また、サイレン部、制御部は金属部品で覆っているため侵入者による破壊行為にも対応します。
5. 制御機能搭載によりコントローラが不要（GS-04のみ）
必要な入出力部と制御部を装備しているため入出操作器と検知器を接続するだけで簡易な防犯システムの構築が可能です。
6. 半屋外での設置が可能（GS-02のみ）
防雨構造により出入り口や窓付近への取付けが可能です。

3. システムの構成

■ GS-04

制御盤に接続し、制御盤からの検知信号を受けて動作します。

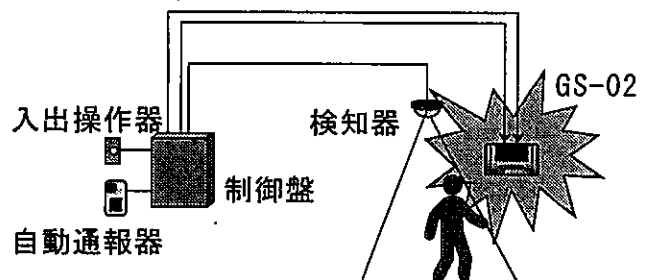


検知器、入出操作器、自動通報器を直接接続し、検知信号を受けて動作します。



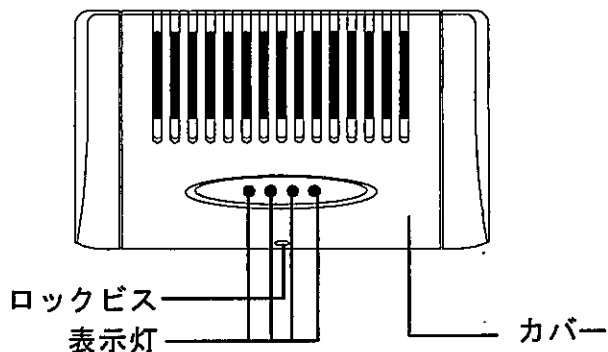
■ GS-02

制御盤に接続し、制御盤からの検知信号を受けて動作します。

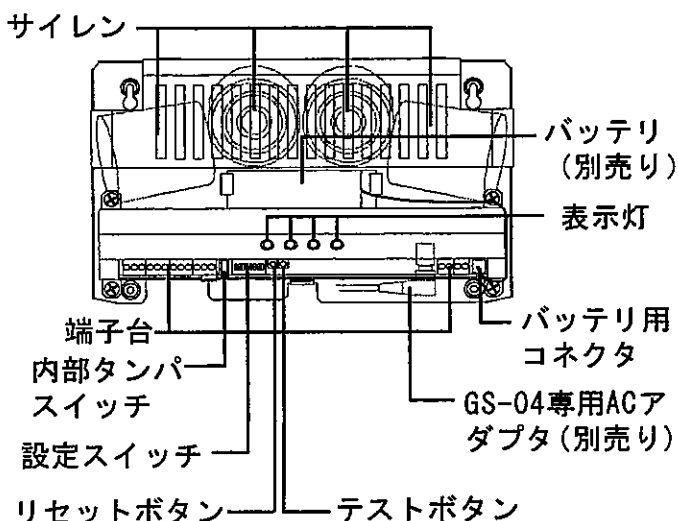


4. 各部の名称と働き

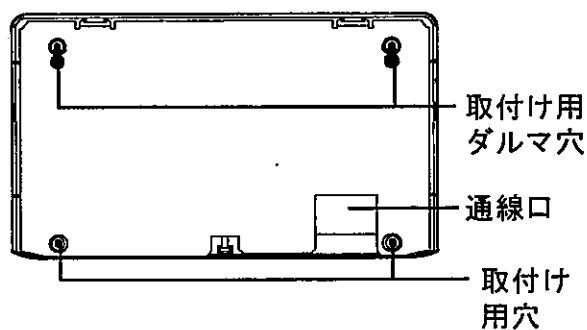
■GS-04 (本体外観)



■GS-04 (本体内部)



■GS-04 (本体裏面)



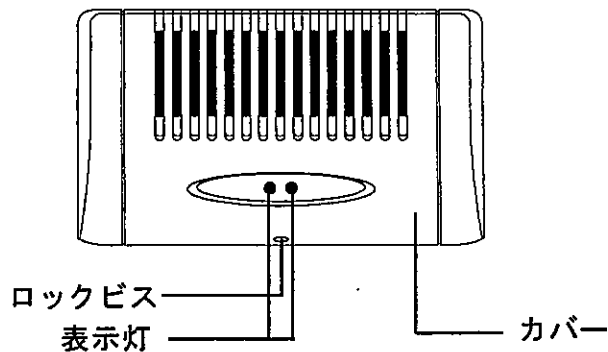
■GS-04 (付属品)

取付けビス (呼び4×35mm)	・・・4本
ボードアンカー	・・・4本
施工説明書	・・・1冊
1kΩ抵抗	・・・1個

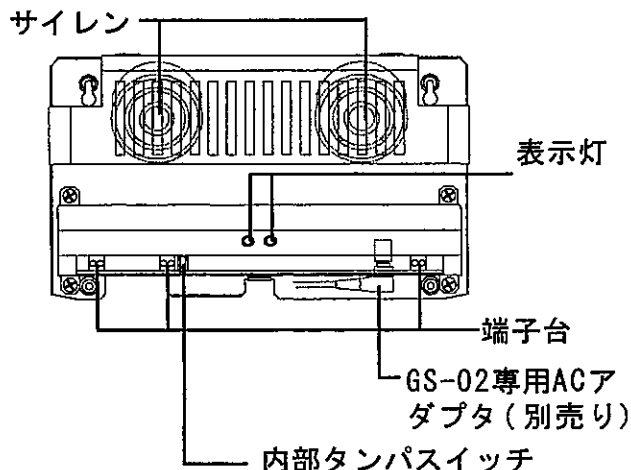
■GS-04 (別売り品)

バッテリー NP 0.8-12 (YUASA製)
(小型シール鉛電池) ・・・1個
型番:GT-1B
(DC12V, 0.8Ah)
GS-04専用ACアダプタ ・・・1個
型番:A41806J
IN:AC100V±10%
OUT:DC18V
コード長3.0m

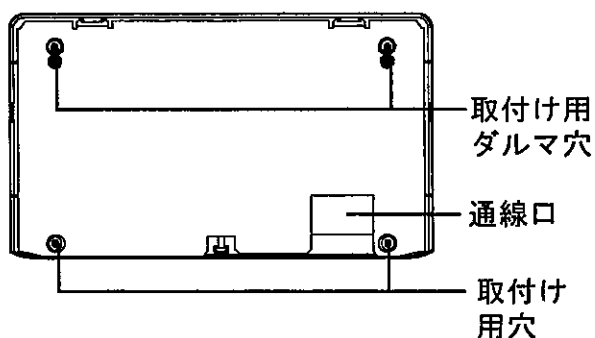
■GS-02 (本体外観)



■GS-02 (本体内部)



■GS-02 (本体裏面)



■GS-02 (付属品)

取付けビス (呼び4×35mm)	・・・4本
ボードアンカー	・・・4本
施工説明書	・・・1冊

■GS-02 (別売り品)

GS-02専用ACアダプタ ・・・1個
型番:A41207J
IN:AC100V±10%
OUT:DC12V
コード長3.0m
屋外用延長ケーブル (1m×1本) 付属

5. 設置の方法



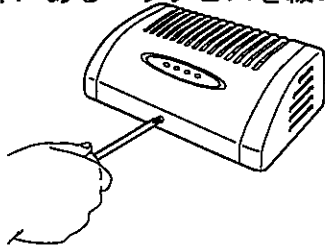
本体は水平にしっかりと固定してください。
バランスが悪かったり、固定されていないと落下して故障する恐れがあります。



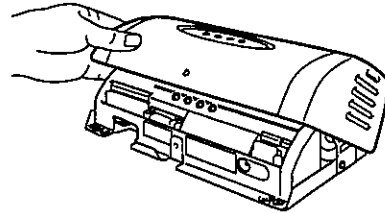
天井、壁に強度がない場合は補強等により確実に固定してください。
機器が落下して怪我をする恐れがあります。

1. 本体のカバーをはずします。

本体下部にあるロックビスを緩めます。



本体のカバーをはずします。



2. 設置場所の確認をします。

■ 設置する場所

GS-04・・・屋内の金庫等の重要物付近に取付けてください。

設置の際にはカバーの脱着のために機器天面から5cm以上の空間をあけてください。
また機器下面にはカバー固定の際にドライバーの入る空間をあけてください。

GS-02・・・屋内の金庫等の重要物付近または半屋外の出入り口付近の軒下、壁面等の雨が直接かからない場所を取付けてください。

設置の際にはカバーの脱着のために機器天面から5cm以上の空間をあけてください。
また機器下面にはカバー固定の際にドライバーの入る空間をあけてください。

■ 設置する高さ

壁面に設置される場合は故意のいたづらを防ぐために手の届きにくい高さに設置してください。

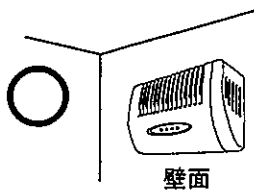
■ 設置する壁、天井

設置は壁面または天井面の強度があり、ゆがみのない場所を選んでください。

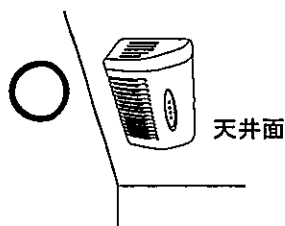
石膏ボードや中空壁、天井面を取付ける際には必ず付属のボードアンカーを使用してください。

■ 設置する向き

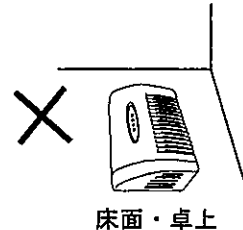
設置の際には必ず壁面または天井面に設置してください。卓上や床面への設置はしないでください。(GS-04のみ)



壁面



天井面



床面・卓上

■ 配線の長さ

別売りの専用ACアダプタを使用される際にはAC100V電源のコンセントを確認してください。専用ACアダプタの配線長は3mです。

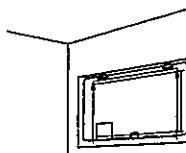
専用ACアダプタは屋内専用です。半屋外に設置する際には必ず付属の屋外用延長ケーブルに接続してください。(GS-02のみ)

また、外部機器を接続される場合にはその機器の配線長を確認してください。

(P10「23. 配線の方法」参照)

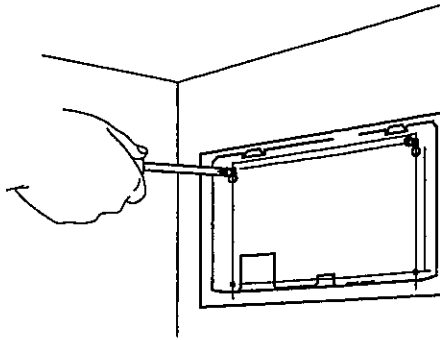
3. 本施工説明書最終ページの「取付け用型紙」を切り離して設置する位置に仮止めをします。

配線のための通線口や取付けビスの位置については「取付け用型紙」でご確認ください。



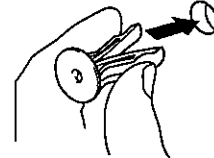
4. 取付けビスを設置面に取付けます

「取付け用型紙」に記載されている位置に合わせて上側の2本のビスを取付けます。2本のビスは最後までねじ込まずに設置面から約1cm浮かせた状態にしてください。設置面は強度があり、ゆがみのない場所を選んでください。また設置面が石膏ボードや中空壁、天井面などでネジ止め部に強度がない場合は付属のボードアンカーをご使用ください。



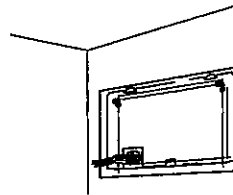
(ボードアンカーの使い方)

直径8mmの下穴を開け、アンカーの脚を折りたたんだまま下穴に差し込みます。入りにくい場合はハンマー等で軽く叩いてください。取付けビスの位置にあわせて4箇所行ないます。



5. 通線口から配線を取り出します

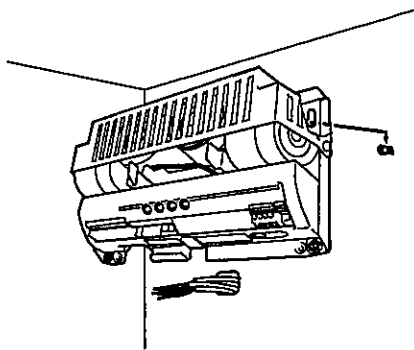
「取付け用型紙」に記載されている通線口の位置に穴を開けて配線を取り出し、「取付け用型紙」をはずします。



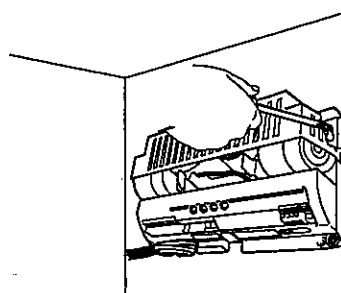
6. 本体を取付けます

上側に取付けられた2本のビスに本体のダルマ穴を差し込んで引っ掛けます。

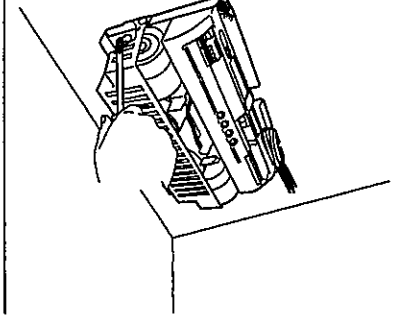
2本のビスを締め、下側2本のビスを取付けます。



壁面取付け



天井取付け



7. 配線、スイッチの設定、動作の確認まで完了したらカバーを取付けます

配線(P10, 23)、スイッチの設定(P8参照)、動作の確認(P14, P24参照)まで完了したら、カバーを取付けてロックビスを締めてください。

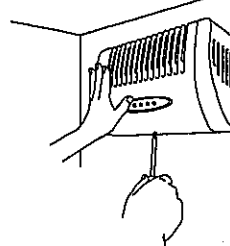
ご注意

ロックビスを締める際にはカバーを手でしっかりと押さえて確実に固定してください。カバーを固定した後で「異常表示灯」が消灯することをご確認ください。緑色の「異常表示灯」が点灯している時はカバーがしっかりと固定されていない恐れがあります。

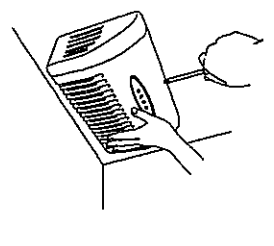
ご注意

カバーを固定する前に図のように配線をゴムシートで押さえて収納してください。配線がはみ出るとカバーが正しく固定できない恐れがあります。

壁面取付け



天井取付け



ゴムシート

